

～晩秋花めぐり～

ツワブキ、ハマギク、
メキシカンブッシュセージなど咲いています



ハマギク
2013年10月22日撮影



ツワブキ 2013年10月29日撮影

秋の深まりとともにコキアの紅葉も見頃を過ぎ、赤一色だったみはらしの丘は茶色へと様変わりして、本公園の秋の主役が終演を迎えようとしています。

そんな中、現在ツワブキやハマギク、メキシカンブッシュセージなど、**風情ある晩秋の花々が開花しています**のでご案内いたします。

ツワブキは、すっと伸びた花茎の先に咲く愛らしい黄色の花と、つやつやした光沢をもつ濃い緑の葉が美しく、「バーベキュー広場」近くの木立の下など、園内各所に群生しています。

サイクリングコースの「常陸野サークル」付近や「砂丘エリア」では、ハマギクが清楚な白い花を咲かせています。

そのほか、「香りの谷」のメキシカンブッシュセージが、ピロードのような紫色の蕾から、紫や白の花を咲かせ始めました。これからは、小ぶりで可愛いイソギクが徐々に開花していきます。

秋を彩ったコキアやコスモスの華やかで圧倒的なスケール感とは異なり、ひっそりと咲く晩秋の花々にはまた違った趣があります。暖かい恰好で園内をのんびり散策しながら、可憐な花々を探してみてください。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 企画課 広報担当 服部・平田・安蔵・田中

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

ツワブキ

キク科ツワブキ属 多年草
原産地：日本

見頃：10月上旬～11月上旬
(綿帽子は12～1月)

開花中

ツワブキは福島・石川県以西の海岸や海辺の山などに自生する常緑のキク科の多年草です。

名前の由来は、フキに似ていること、そして、葉に海浜植物特有の光沢があることから、ツワブキが転訛したと言われていいます。葉や花が美しく、ハマギク、イソギクと並んで観賞価値が高いことから、古くから栽培されてきました。

秋になると70cm程度の花茎が伸び、直径3～6cmの黄色い花をつけます。花後はタンポポのような綿ぼうしを1月下旬頃まで楽しむことができます。



2013年10月22日撮影

ハマギク

キク科キク属 多年草
原産地：日本

見頃：10月中旬～11月上旬

開花中

ハマギクは茨城県から青森県の太平洋側に分布し、海岸の崖などに生える日本原産のキク科の植物です。

学名は「Nipponanthemum nipponicum」。植物として唯一属名にも種小名にもニッポンの名が入った学名を持ち、茨城県出身の植物学者、松村任三氏によって命名されました。

本公園のあるひたちなか市の花はこのハマギクで、ひたちなか市付近がハマギクの自生地であることから、市の花となっています。



2013年10月22日撮影

メキシカンブッシュセージ

シソ科サルビア属 宿根草 原産地：メキシコ

見頃：10月中旬～11月下旬

開花中

メキシカンブッシュセージはアメジストセージやサルビアレウカンサともよばれ、ピロードのような紫のつぼみから同じく紫の花を咲かせるものと、白い花を咲かせるものがあります。ただいま「香りの谷」で開花しています。



2013年10月22日撮影

Topics



砂丘エリアのガラスハウス前の池に今年の夏からサンパチェンスを植栽しています。花期が長く、海風や台風にも負けず、綺麗に咲いていますよ。



メタセコイヤの並木道は11月末頃から紅葉が始まります。

コキアなう

『みはらしの丘』のコキアの“今”をレポートします。

今年の大型台風を乗り切ったコキアは紅葉も終わり大部分が茶色です。11/5から刈り取りを行います。(´´)

2013年10月29日撮影



プレスリリース 今後の予定

- ◆津波・防災フェア開催、無料日に!
- ◆西池周りに市民参加でスイセン植え付けします!
- ◆砂丘シンポジウム開催! ◆花いっぱいプロジェクト開催!
- ◆イソギク開花! ◆42.195km リレーマラソン開催!
- ◆メタセコイヤ紅葉!